

BASE 宝塚

地域に密着した仕事スタイルを求めて

地元宝塚に、初めての coworking space を



武庫川を挟んだ向こう岸に、宝塚大劇場を一望できる BASE 宝塚は、宝塚歌劇団ファンでなくても心踊るような素晴らしいロケーションの coworking space だ。

ご自分でも「場所を選ばない仕事場」を模索するなかで、 coworking space の良さを知って BASE 宝塚をオープンした、株式会社宝塚デザイン代表取締役の森下昭博さんにお話を聞いた。

打ち合わせスペースが必要。それなら、交流の場所にもなる coworking space を



ご自身がシステムエンジニアで奥様は WEB デザイナーという森下さんご夫妻。自宅で WEB 制作の仕事をするなか、自宅以外に打ち合わせや交流の場が必要だと感じていた。

そんな折、丹波市の「おためしテレワーク移住体験」に参加。シェアハウスで仕事をしながら地元・丹波の人々と交流する体験をした。地域の人たちと繋がることや地域に密着した仕事スタイルに魅力を感じたこともあり、森下さんは、自分たちの住む宝塚市にコワーキングスペースを開こうと考えた。



BASE 宝塚、人気の理由

「オープン当初、コワーキングスペースは東京や大阪など大都市にはあったものの、宝塚市にはまだ無く、知られてさえいませんでした。オープンにあたり市の協力や支援もなかなか得られなかったのです」

苦労もあったようだが、現在運営は順調だ。その理由の1つは、システムエンジニアの森下さんが行うWEB制作サポートサービスがあること。WEB制作の技術は、頻繁にアップデートが必要なことや、わからないところが人によってバラバラなため、習得に苦労する人が多い。そこで森下さんは、利用者の簡単な質問には極力その場で対応し、詳しく習いたい人向けにはマンツーマンのレッスンも行なっている。

WEBデザイナーでなくても、起業やビジネスに欠かせないのがWEB制作。プロが身近にいてくれるのは、BASE宝塚の大きな魅力となっている。



また、自ら起業経験があり、早くからテレワークを実践している森下さんは、起業家やフリーランスの様々なサポートも行なっており、BASE宝塚は2019年に宝塚市の認定起業家等支援施設の1つに名を連ねている。宝塚市からも起業家支援のサポーターとして頼りにされる存在なのだ。

地元宝塚の魅力を発信するために、自分たちと少数のスタッフで取材・撮影・編集しているYouTubeチャンネル「宝塚図鑑（タカラヅカン）」も人気だ。

森下さんが目指した通り、まさに地域密着型の経営が成り立っているようだ。

宝塚ならではの良さもあり、住みやすさもトップクラス

お話を聞いた後、コワーキングスペースを見せていただいた。

靴は脱いでスリッパで過ごす室内には、美味しいと噂のコーヒーの香りが漂い、リラックスできる雰囲気だ。



入り口付近に置かれたピアノは歌劇団の演出家をされている方が寄贈してくれたもの。トップスター、大浦みずきさんや水夏希さんのサインが書かれている。このピアノを見に来られる方、歌劇団の公演の合間に仕事をしに訪れる方など、この立地ならではの利用者も多いのだとか。もちろん、まちとしての住みやすさにも森下さんは太鼓判を押す。



「宝塚市は観光地として有名ですが、美しく整備されていて住環境としてとてもいいまちです。学校給食も美味しく子育て世代にもおすすめです」
宝塚市は、歌劇団も住みやすさもトップクラスらしい。

キャプション

<003220126_012>

株式会社宝塚デザイン代表取締役の森下昭博さん

<017220126_092>

リラックスできる雰囲気のワーキングスペース

<037220126_140>

森下さんは、起業家やフリーランスの様々なサポートも行っている

<033220126_125>

名刺を貼る掲示板。利用者同士の交流もある

<025220126_107>

寄贈されたピアノには、大浦みずきさんや水夏希さんのサインがある